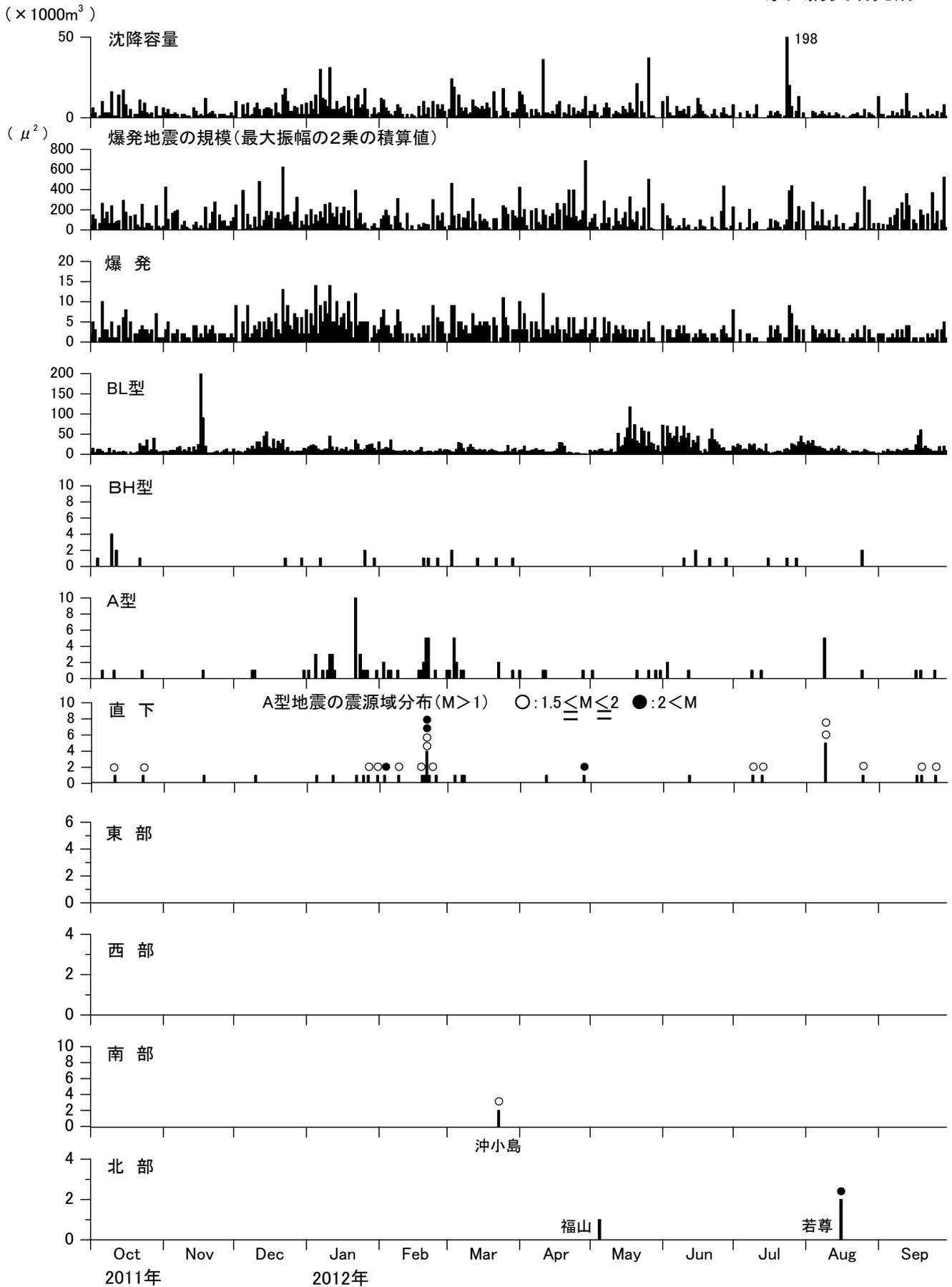


桜島における火山性地震の月別発生回数と降下火山灰量
(2012年9月30日まで)



火山性地震の日別発生回数(2012.9.30まで)

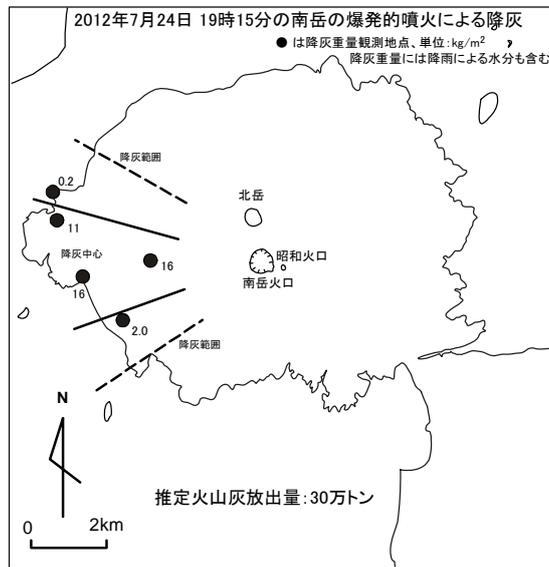


図 1: 降灰範囲と推定火山灰放出量

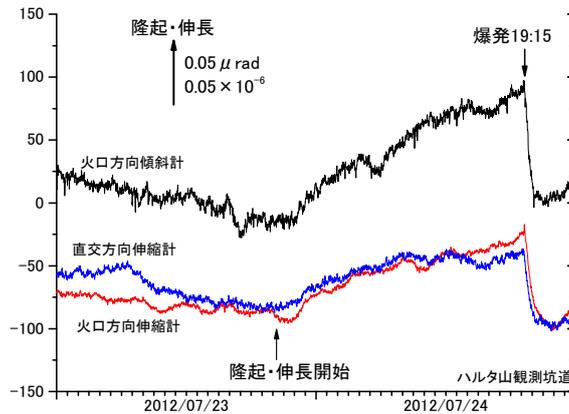


図 2: ハルタ山観測坑道(南岳から約 2.7km)における傾斜・伸縮変化

2012年7月24日19時15分の桜島南岳火口における爆発的噴火について

2012年7月24日の19時15分に桜島の南岳が爆発し、桜島島内および鹿児島市街地で多量の降灰があった(図1)。推定火山灰放出量は約30万トンであり、南岳の噴火としては規模の大きいものである。南岳の西5.6kmにある桜島火山観測所における降灰量は 11kg/m^2 であった。

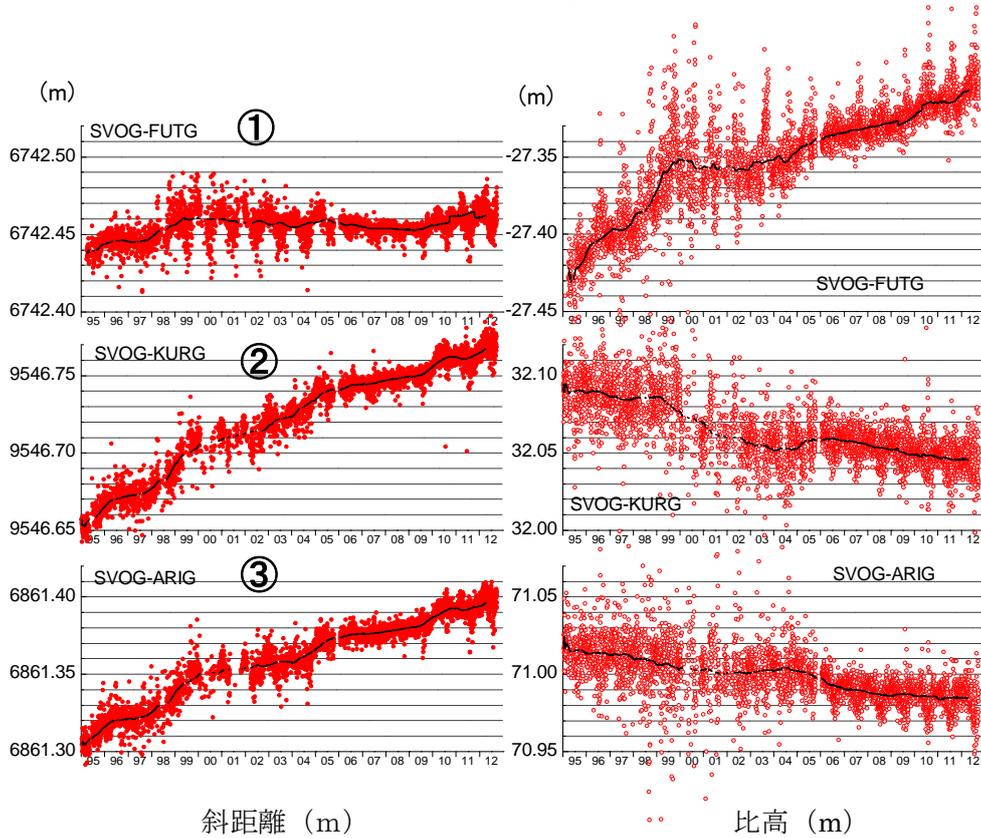
この爆発に先行して7月23日の21時頃から南岳山頂方向の隆起を示す傾斜変化と山体の膨張ひずみが観測され始め、22時間後に南岳で爆発が発生した(図2)。爆発発生後には急速な火口側の沈降傾斜と収縮ひずみが観測され、傾斜・ひずみとも膨張開始前の状態に戻った。収縮体積量は約 10万m^3 で、マグマの密度を 2500kg/m^3 とするとおおよそ放出された火山灰の量に相当することになる。

桜 島

GPS 連続観測 1/2 (2012 年 9 月 30 日まで)

データ収録 : 24 時間 / 日, サンプルング : 15 秒 (1995 年 - 2005 年 5 月)

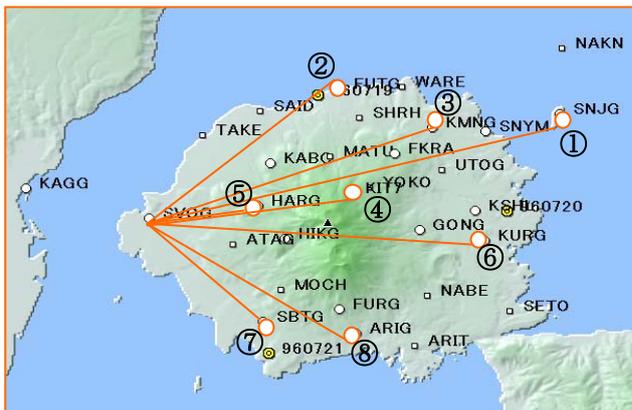
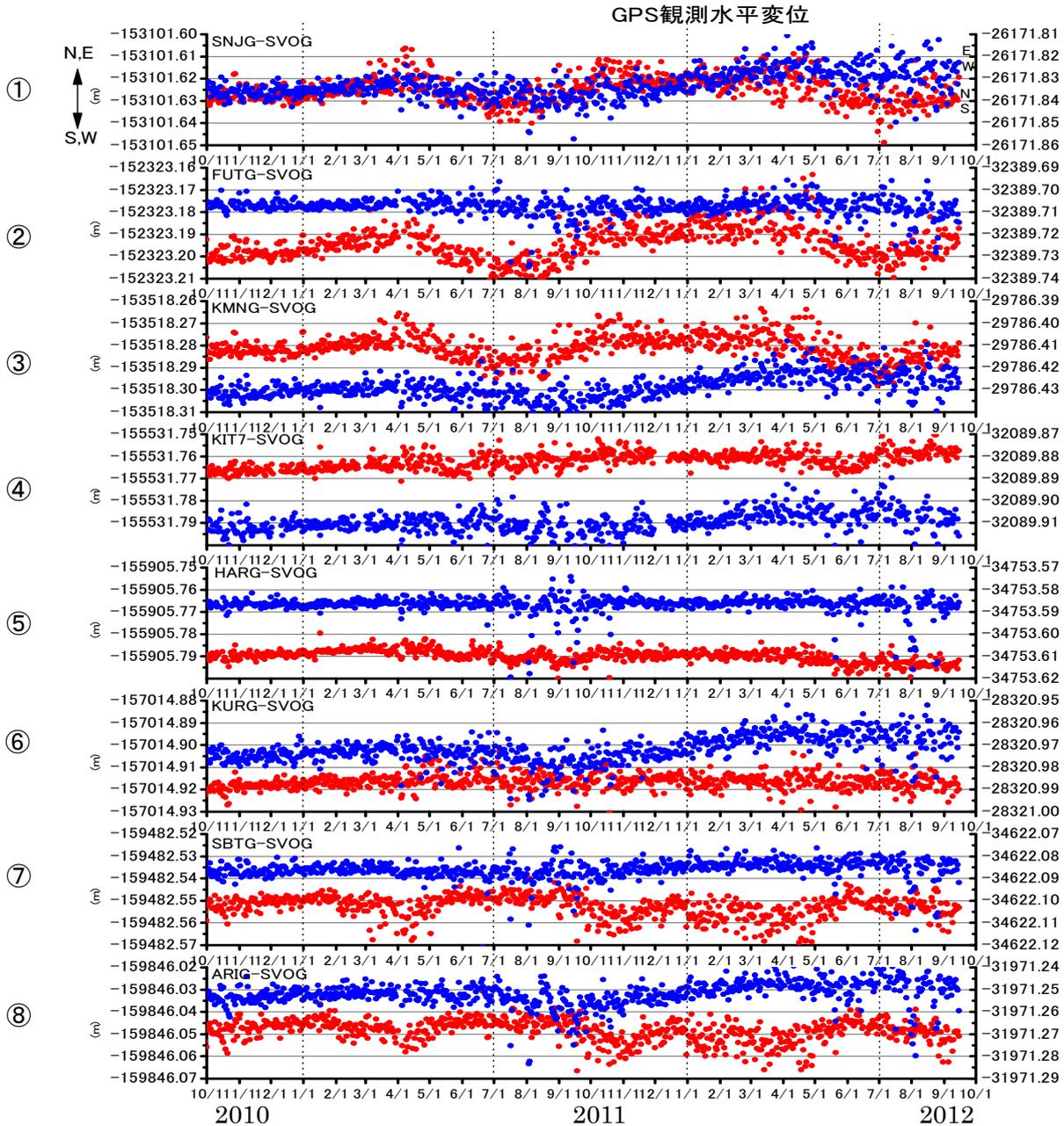
サンプルング : 1 秒 (2005 年 6 月以降)



国土地理院発行の数値地図 50mメッシュ (標高) から作成

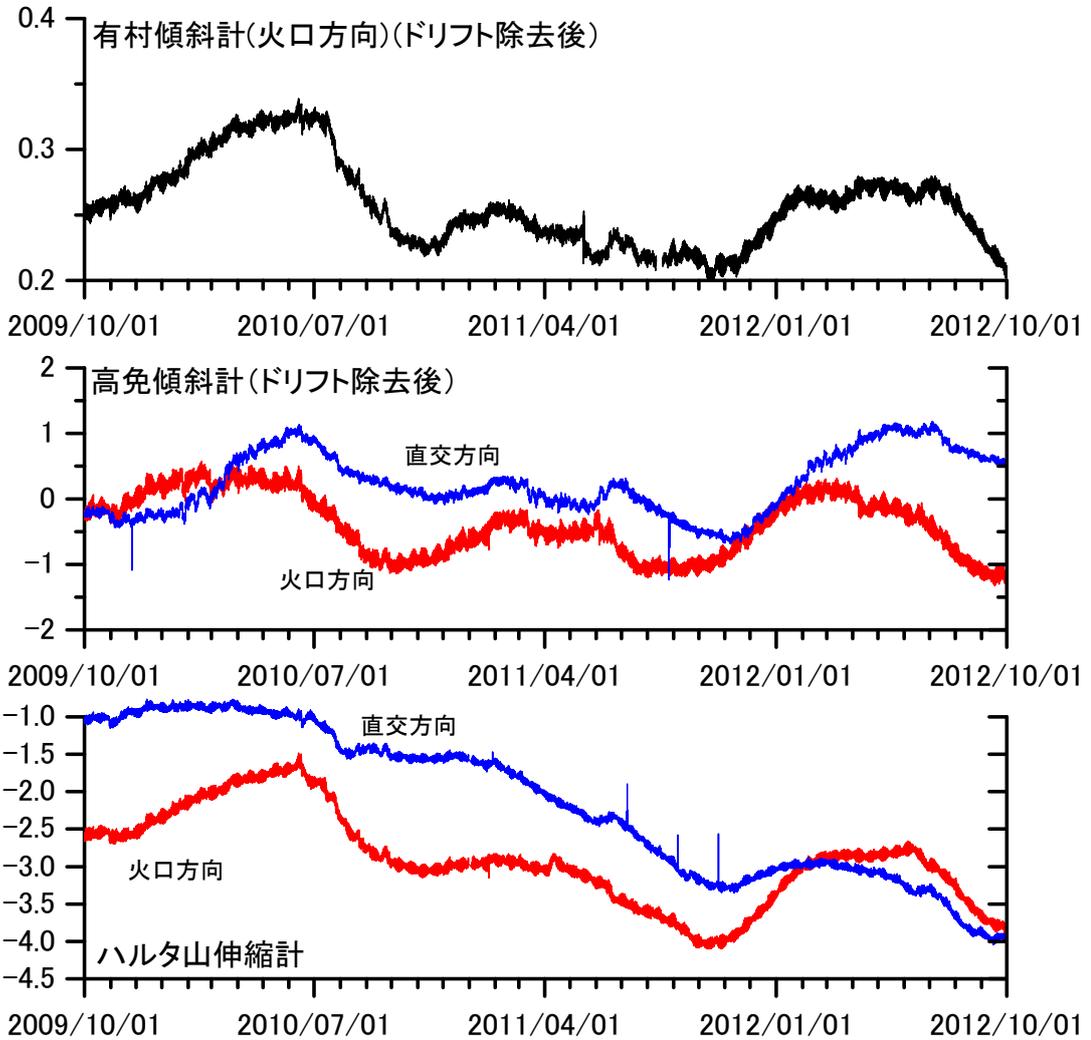
GPS 連続観測 2/2 (2012 年 9 月 30 日まで)

データ収録: 24 時間/日, サンプルング: 1 秒

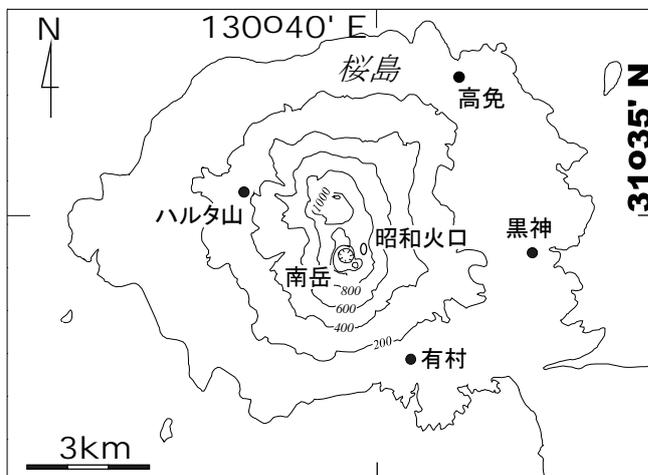


国土地理院発行の数値地図 50m
メッシュ(標高)から作成

地盤変動

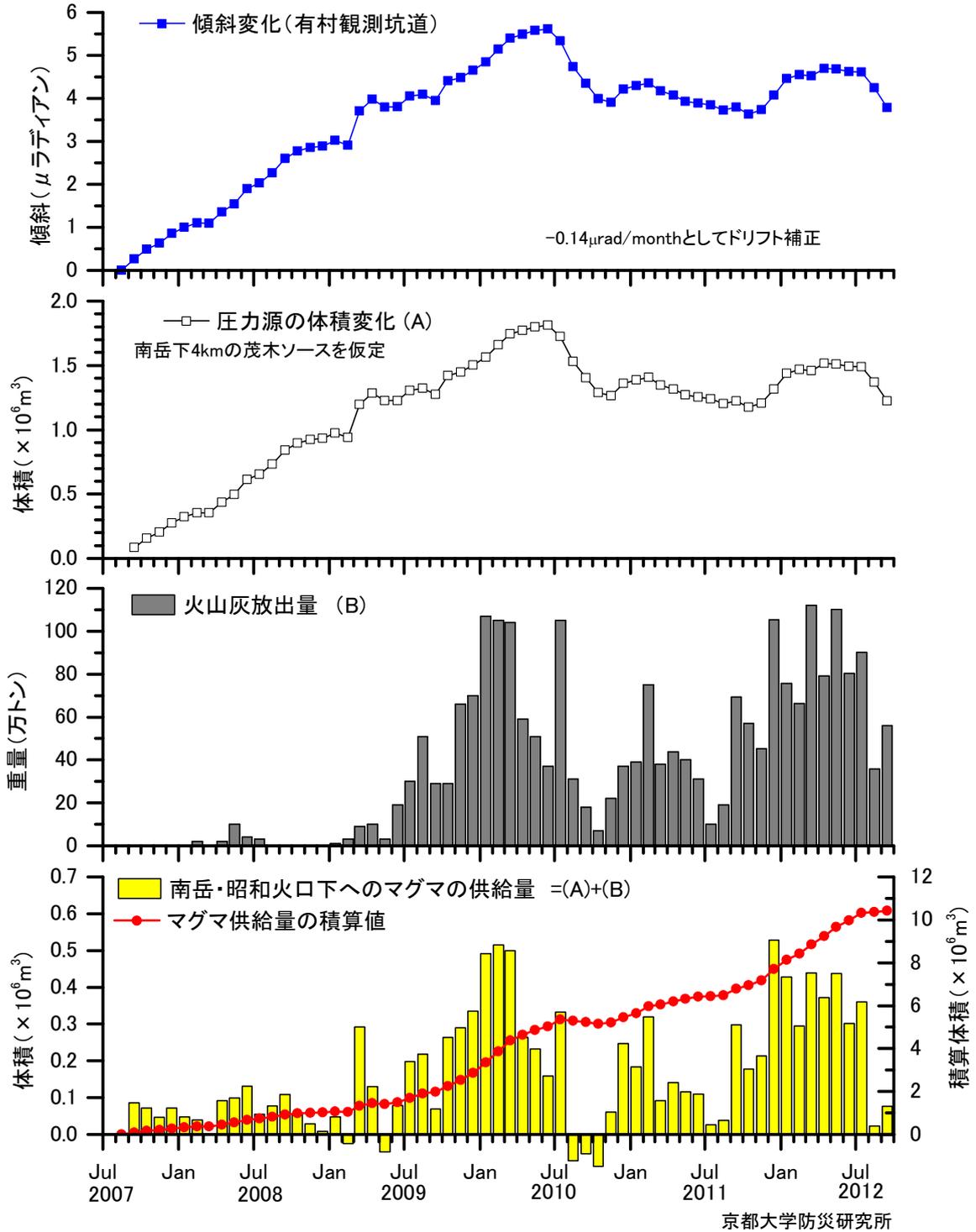


京都大学防災研究所



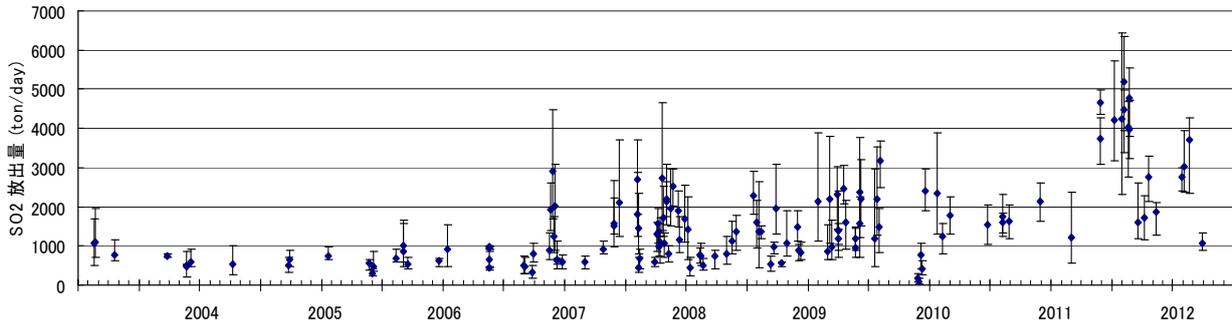
桜島

南岳山頂下へのマグマ供給量の見積もり

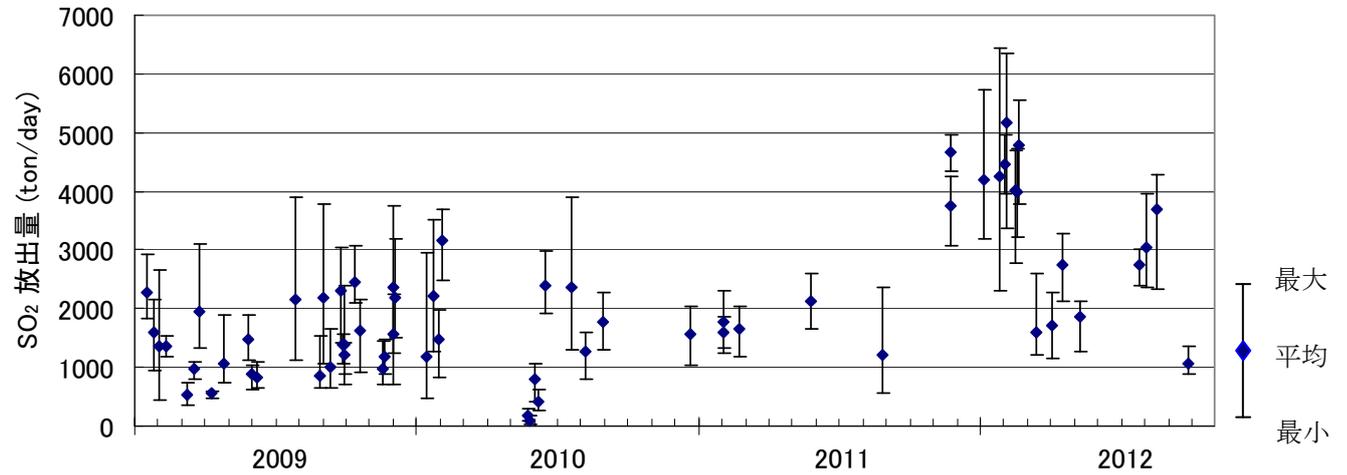


SO₂ 放出量 (ton/day)

COMPUSS による桜島火山の SO₂ 放出量 (2003 年 8 月～2012 年 9 月)

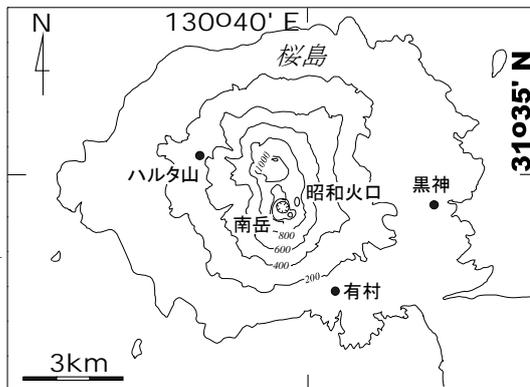
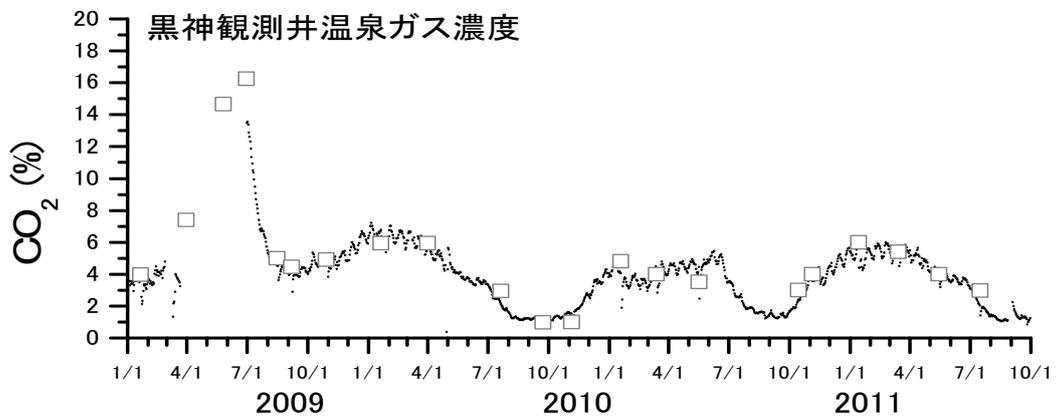
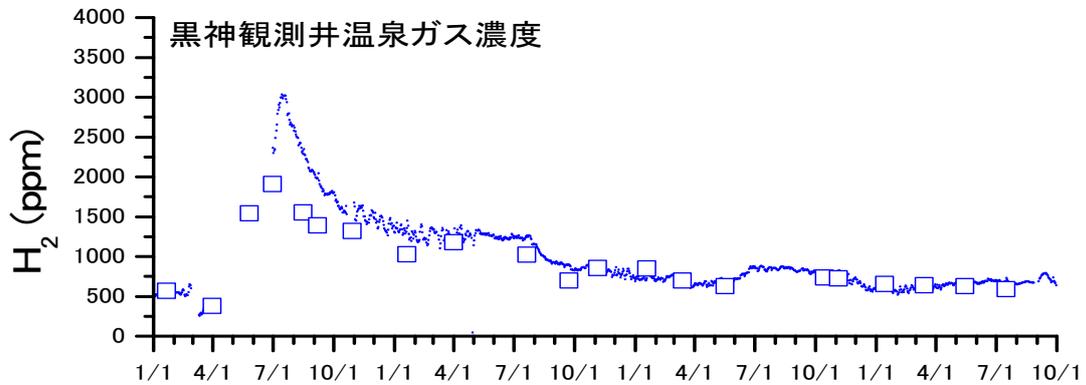
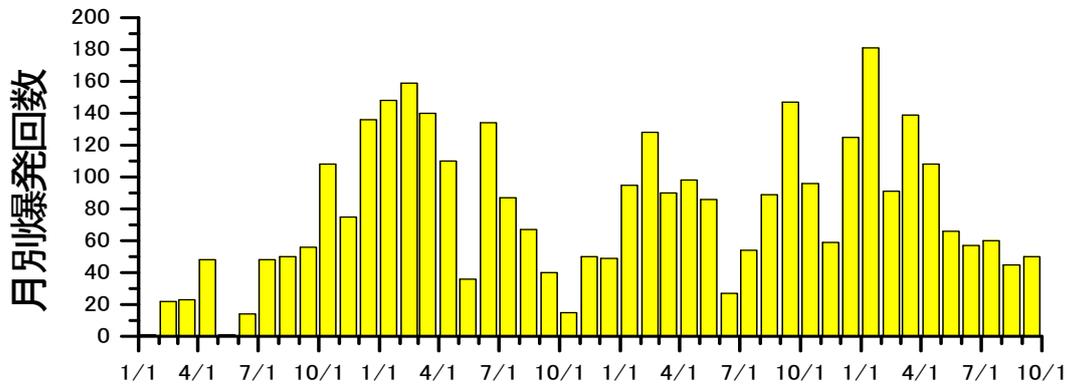


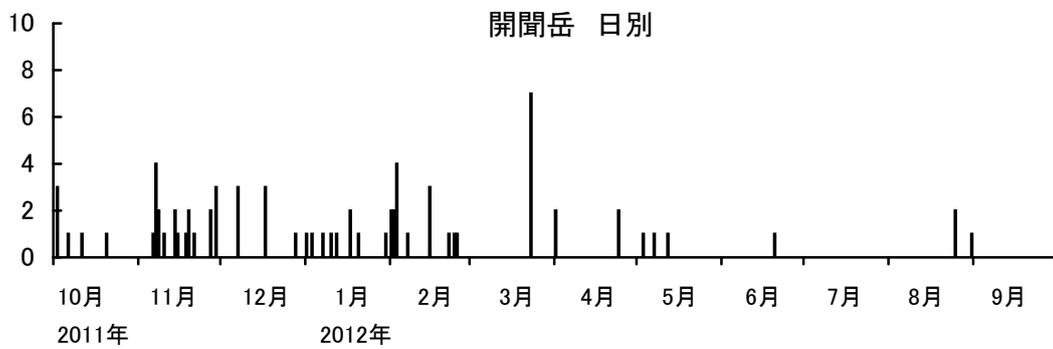
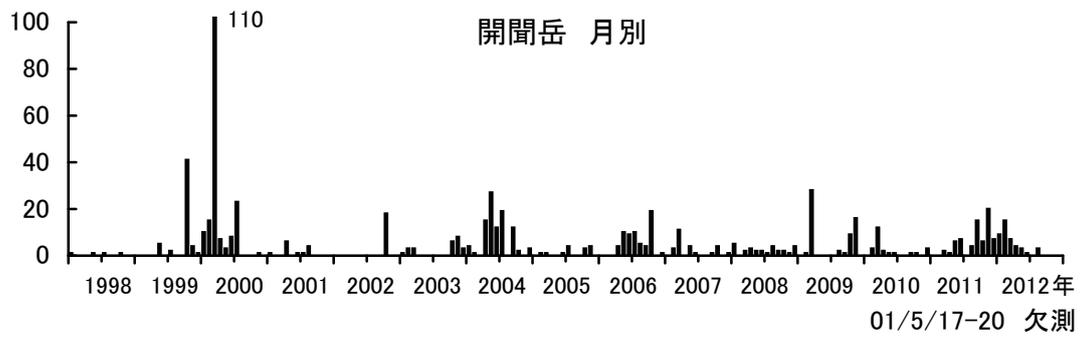
COMPUSS による桜島火山の SO₂ 放出量 (2009 年 1 月～2012 年 9 月の拡大表示)



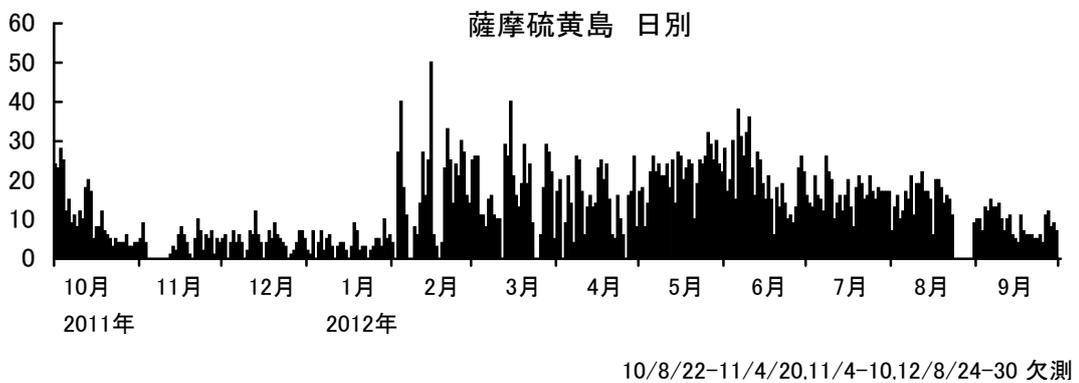
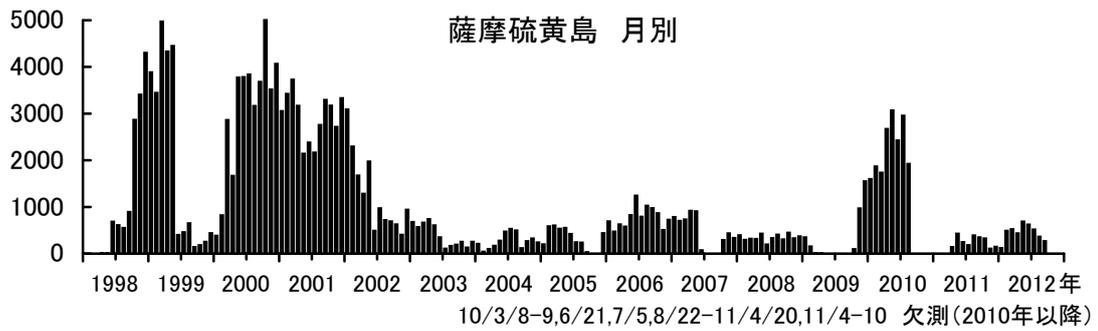
桜 島

黒神温泉ガス

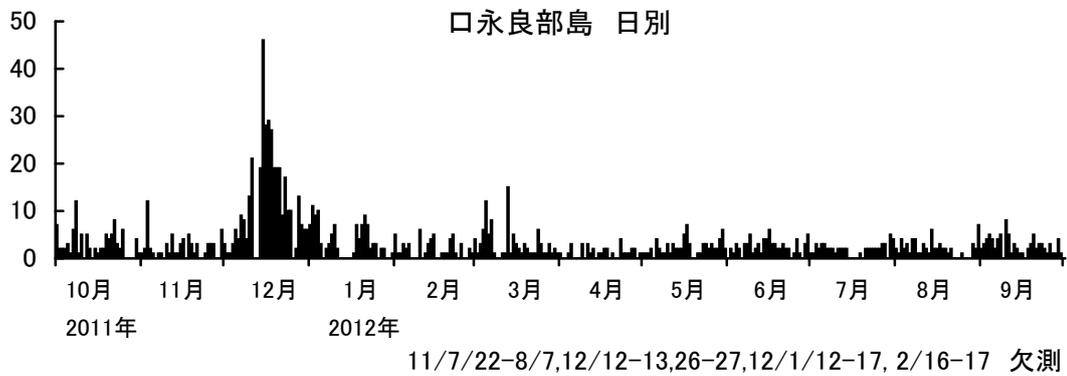
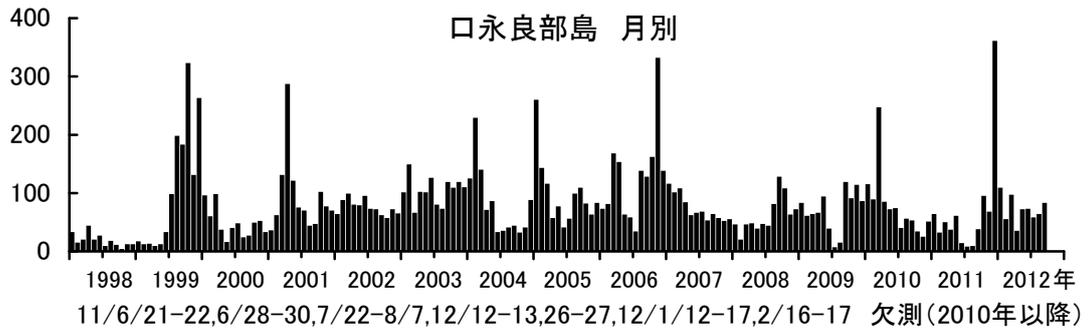




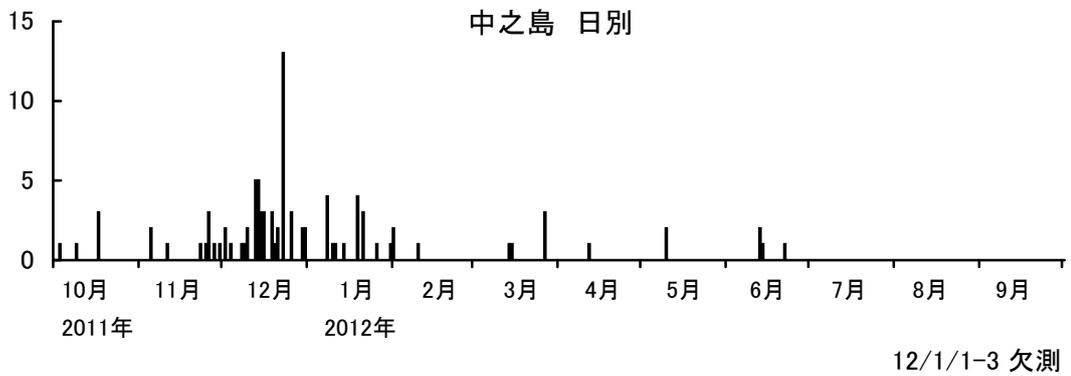
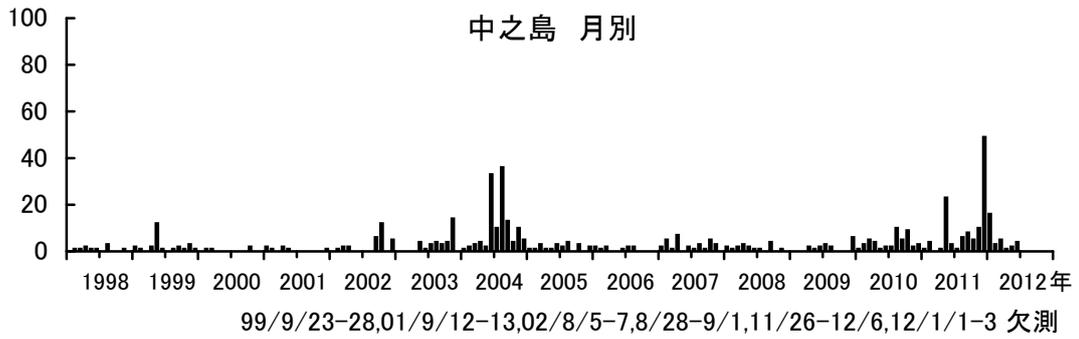
開聞岳における火山性地震の発生回数
(2012年9月30日まで)



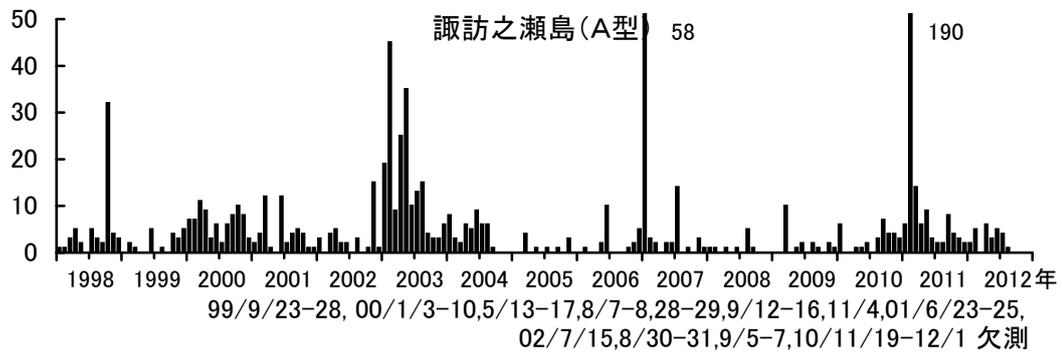
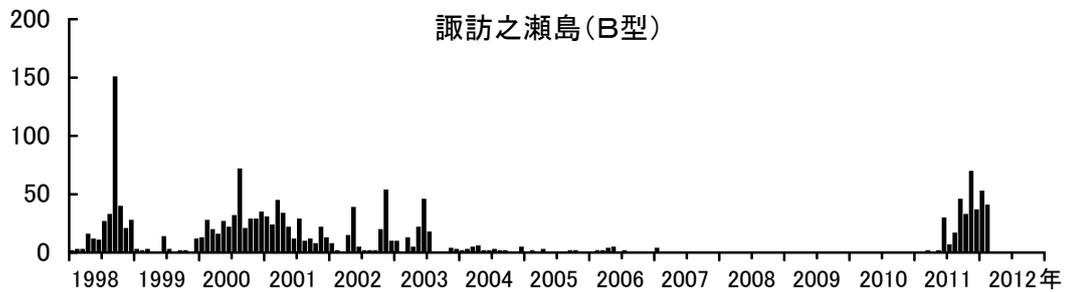
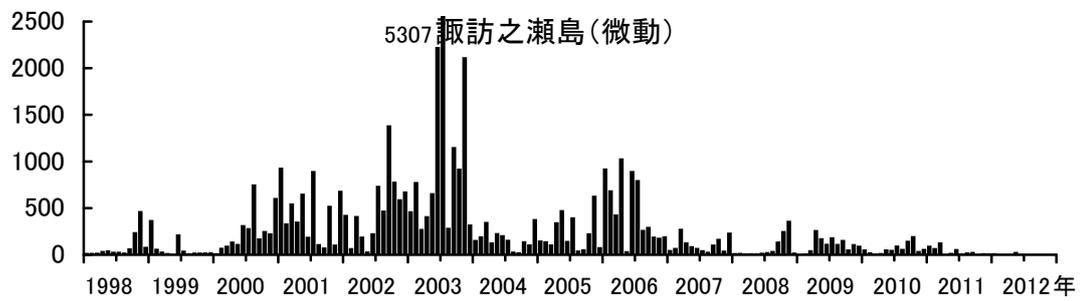
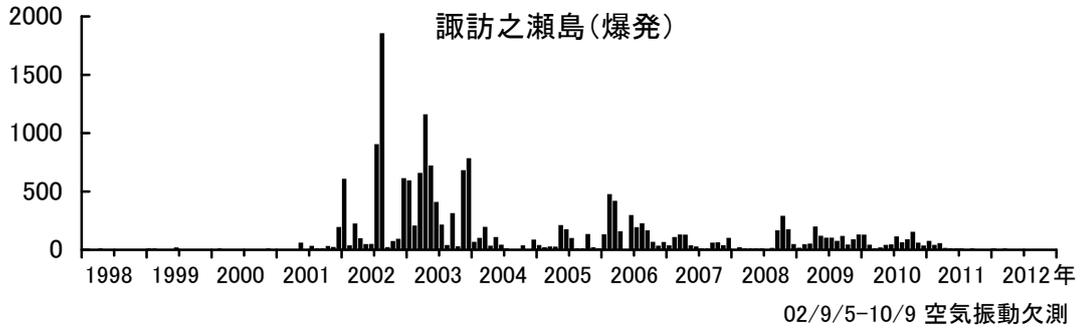
薩摩硫黄島における火山性地震の発生回数
(2012年9月30日まで)



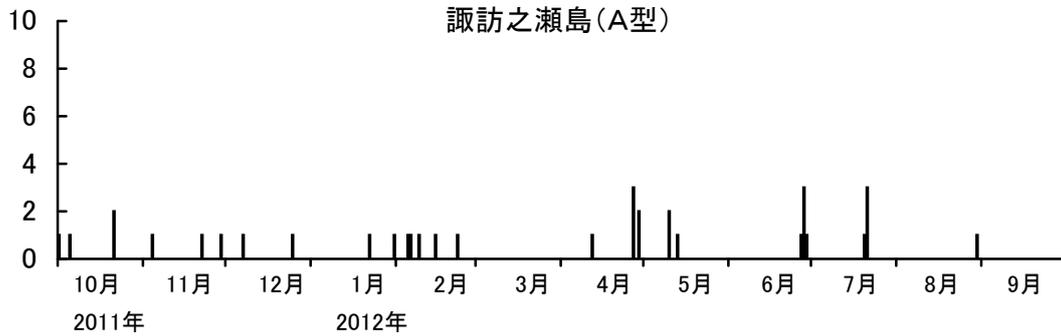
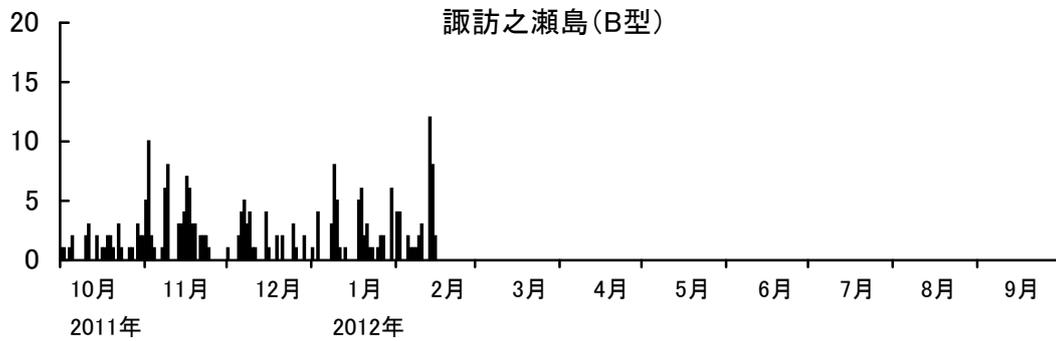
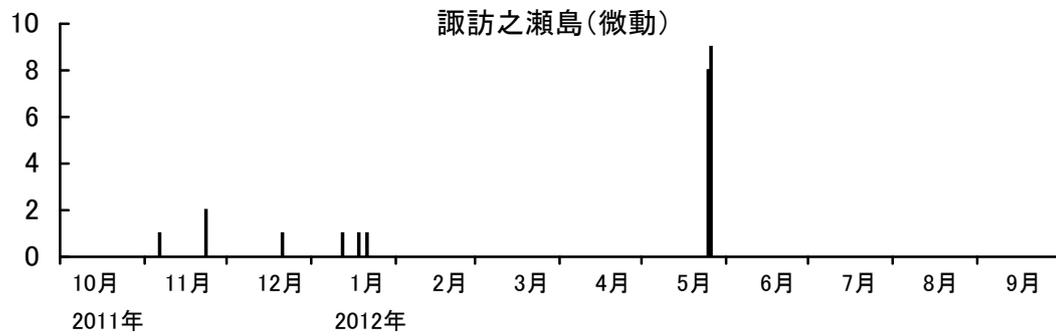
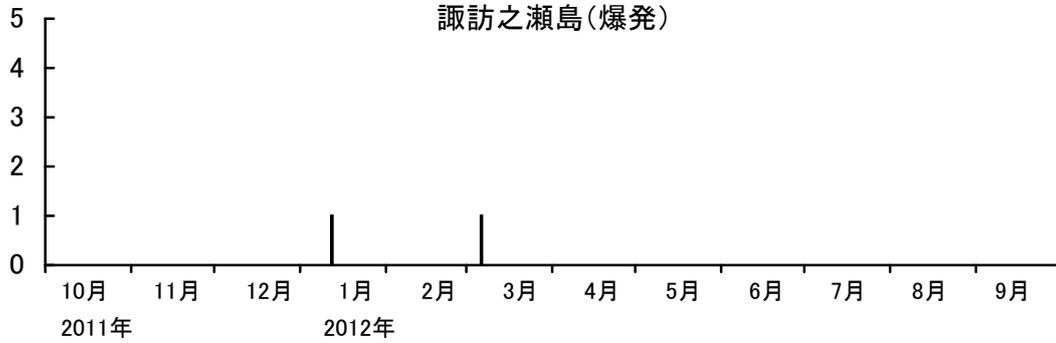
口永良部島における火山性地震の発生回数
(2012年9月30日まで)



中之島における火山性地震の発生回数
(2012年9月30日まで)



諏訪之瀬島における火山性地震の月別発生回数
(2012年9月30日まで)



諏訪之瀬島における火山性地震の日別発生回数
(2012年9月30日まで)